

# IV-4 【施策展開の方向性】 地域が支えあい、住みなれた場所で安心して暮らせるまちへ

## 具体的な取組み（例）

医療・介護・福祉関係の多職種の方々と区において設置している「ネットワーク会議」を通じて、区民皆様の暮らしを支える取組みを進めます。

11月30日は  
人生会議の日

ACP  
人生会議

もしものときのために  
**人生会議**

遺言・ケアする前に  
大切なことを考えてみましょう

信頼できる人とともに始めてみませんか？

誰にでも、急に訪れる大きな病気やケガをする可能性があります。自分の危機が訪れた状態になると、約70%の方が医療やケアなどを自分で決めたり、誰かを人に任せたりできなくなると言われています。もしものときのために、あなたが大切にしていることや望んでいること、どこで、どのような医療・ケアを望むか、前もって考え、医師の指導する人（医師や、かかりつけ医、介護関係者など）と共有する取組みを「人生会議（ACP）」といいます。医療まで自分らしく生きるとともに、自分が希望する医療やケアを受けるための大切な取組みです。RACPは「アドバンス・ケア・プランニング（Advance Care Planning）」の略称です。また、人生会議はACPの要素です。

**人生会議の進め方**

「これからどのように過ごしていくか？」事前に大切なことや希望を伝えるために、みんなで一緒に考えて話し合い、共有しましょう。STEP①～④の流れを参照していきましょう！

**STEP①**  
あなたが大切にしていることは何ですか？

遺言・ケアする前に、大切にしていることを考えてみましょう

**STEP②**  
あなたが信頼できる人は誰ですか？

もしものときに、あなたの気持ち・希望を伝えてくれる人を選びましょう。

**STEP③**  
信頼できる人や医療（かかりつけ医）・ケアチームと話し合いましたか？

例えば、現在の健康状態を医師に、どんな医療やケアを希望するのか相談しましょう。

**STEP④**  
話し合いの結果を大切な人たちに伝えて共有しましたか？

考えや話し合ったことは書き留めておきましょう。

心身の状態に応じて意思は変化します。何度でも 繰り返し考え話し合しましょう

※この取組は、個人の意思の自由性によって考え、進められるものです。知力や認知機能が低下した方への十分な配慮が必要です。

**意思決定支援（いっばい希望を叶かせよう）プロジェクトチームからのポイント&アドバイス**

希望しながら、人生を自分らしく過ごすには、どうしたらよいのか考えてみる。話し合いは、かきこまることなく、医師を「大丈夫！頼めたこと、書き留めておくことが大切です。」

自分を受け入れ、希望を伝える。自分らしい人生を過ごすには、必ずしも医療やケアが必要とは限りません。医療だけでなく、医療やケアを必要としない場合、必要に応じて「どう生きたいか」「希望をどう伝えるか」を伝える機会を作りましょう。

自分や思いの人に寄り添って考えてください。人生会議についてリーフレットなどを活用し、「どう生きたいか」「希望をどう伝えるか」を伝える機会を作りましょう。

**活用しよう！人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）シート**

医療・希望・思いについて、気持ちを整理するために記入するシートです。人生会議をするときに役立ちます。

詳しくはこちらからダウンロードできます▶

問合せ：保健福祉課（保健） ☎6930-9982 ☎6930-9936

### つなげよう こころの声

記 載 日：2022 年 月 日 本人氏名：\_\_\_\_\_  
感 じ 合 った 日：2022 年 月 日 関係者名：\_\_\_\_\_

#### ステップ1：あなたの希望や思いについて考えましょう

あなたが大切にしたいことは何ですか？（いくつ選んでも構いません）

☐ 家族やそばにいる人が安心して暮らせること

☐ 痛みや苦しみを感じること

☐ 歩きの回りが自分らしく、望んで過ごせること

☐ 人生を全うしたと感じること ☐ 社会や家族で役割を果たせること

☐ 痛みや苦しみが少なく過ごせること ☐ 自然に死んでいくこと

☐ 納得いくまで十分な医療を受けられること ☐ 戸口に支えられること

☐ その他（ ）

#### ステップ2：健康について学び、考えましょう

1) あなたは自分の「健康」について意識して生活していますか？ ☐ はい ☐ いいえ

2) 医療決定や病気について正しい知識を身につけていますか？ ☐ はい ☐ いいえ

3) 望む医療について希望がありますか？ 遠慮な方は「もし病気になるたら」と仮定して

☐ 何でも長く生きられるような治療を受けたい

☐ どんな治療でも、とにかく病気が治ることを目指した治療を受けたい

☐ 苦痛を減らさず、自分らしく暮らすことに重点を置いて医療やケアを受けたい

☐ できるだけ自然な形で最期を迎えられるような必要最低限の治療を受けたい

☐ その他（ ）

## V 将来ビジョンの推進に向けて

---

- ・将来ビジョンの推進に向けて、さまざまな課題に対応するためには、地域の皆さんや関係団体、企業、行政機関等が手を取り合って連携しながら取り組む必要があります。
- ・その中で区役所は、区民の皆さんや地域に最も身近な行政機関として、皆さんの意見やニーズを丁寧かつ細やかに把握し、前例にとらわれず、地域実情に応じた区政運営を推進していく必要があります。
- ・城東区役所では、区内企業や各種団体との連携を積極的に推進、かつ、区で掲げている「経営理念」にありますとおり、「変革と創造」、「徹底した対話」、「最上のサービス」に職員が全力をあげて取り組むことで、区民の皆さんに貢献してまいります。
- ・将来ビジョンにおいて定められた区のめざすべき将来像及びその実現に向けた施策展開の方向性にしたが、区政会議で委員の意見をいただきながら、毎年度、単年度のアクションプランである運営方針を策定、そこで課題解決のための事業戦略（施策）及び具体的取組み（事務事業）を示すとともに、定期的に事業の有効性をチェックし、改善や見直しにつなげていくなど、PDCAを意識した区政運営を実行してまいります。
- ・なお、大阪市において策定されている「市政改革プラン3.1」に基づく取組みや、大阪市全体での施策の方向性を見直しや環境変化等の状況については、必要に応じてその都度、毎年度の運営方針に反映し、取組みを進めてまいります。

## (参考)「大阪・関西万博」開催に向けて



城東区における  
「共創チャレンジ」一覧  
はこちらのホームページ▶  
で公開しています



2025年には、大阪市の夢洲において、日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）が開催されます。

大阪・関西万博の開催に向けては、「TEAM EXPO 2025」プログラムとして、テーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するために、企業、大学等教育・学術・研究機関、国・政府関係機関、国際機関、自治体、NGO、NPO法人、各種団体、個人といった多様な参加者が主体となり、理想とした未来社会を共に創り上げていくことをめざし取り組んでいます。

城東区役所は「TEAM EXPO 2025」の一員として、共創チャレンジ（※）に積極的に登録するなど、SDGsの達成に向け、主体的に貢献してまいります。

※共創チャレンジ…大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現するため、自らが主体となって未来に向けて行動を起こしている、または行動を起こそうとしているチームの活動のこと。